

平成23年第1回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者	
3月8日(火)	午後	1	渡 邊 雄 三 議員
		2	中 島 清 一 議員
		3	樋 浦 恵 美 議員
9日(水)	午前	4	本 多 了 一 議員
		5	埴 豊 議員
	午後	6	齋 藤 信 行 議員
		7	齋 藤 紀美江 議員
		8	大 原 伊 一 議員
10日(木)	午前	9	小 林 由 明 議員
		10	山 崎 雅 男 議員
	午後	11	土 田 昇 議員
		12	夕 ナ カ ・ キ ン 議員
		13	中 條 征 男 議員
11日(金)	午前	14	長 井 由喜雄 議員
		15	渡 邊 広 宣 議員
	午後	16	中 山 眞 二 議員
		17	杣 木 義 男 議員
		18	阿 部 健 二 議員

平成23年第1回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	渡 邊 雄 三	<p>1. 独居老人、今後の生活環境について</p> <p>(1) 昨今、隣近所無縁社会という言葉がよく聞かれるようになりました。私たちが住む燕市でも最近隣近所とのお付き合いも、代替わりすると希薄になったりします。人間の麗しき絆が失われ、心の孤独が深刻になりつつあります。家族構成も変わり核家族化が進み、高齢者世帯、老老介護などを余儀なくされているケースもある市内約1200世帯。また、独居老人も年々増加している市内約1400世帯。そうした方々の中には、近くに身内がいる人もいればいない人もいます。また、介護を受けている人もいれば受けてない人もいます。一人暮らしで自分のことは自分でできるけれども、持病があったり急に具合が悪くなったり、または身体的には特別障がいもなく、居住において生活することに不安やさみしさを感じ、少し支援することにより一人で生活できる高齢者が安心して明るい生活ができるよう、新しい高齢者福祉の在り方を考えてほしい。</p> <p>①地域の空き家を借りていただくか、買い上げていただき、バリアフリーに改造する程度の最小限の経費で地域住民の理解と協力を得て、数人で生活できる場所の提供ができないか。</p> <p>②このようなこれからの高齢者福祉の在り方を考える検討委員会の設置をお願いしたい。</p> <p>2 住宅火災警報器の設置状況について</p> <p>(1) 住宅火災警報器の設置状況に関して、12月の本会議で何点か質問しましたが、担当部長より「11月30日現在で、38%の設置率にとどまっており、設置の必要性を理解していただいているものの、購入や設置までには至っていない。既にいくつかの自治会からは地元住民の皆さんの希望を取りまとめ共同購入を計画しているというお話を伺っている」とありましたがどのような状況になったか伺いたい。</p> <p>①共同購入した自治会は何カ所あったのか。</p> <p>②直近の設置状況と、今後の対応についてお聞かせいただきたい。</p> <p>3. 学校給食センターについて</p> <p>(1) 燕市学校給食センターの在り方についての案が出されましたが、これまでも合併以来、燕市教育ビジョン検討委員会をはじめ多くの方々が議論をしてきました。平成27年事業完了を目指すとしてあり最終局面が来たと感じます。学校給食は食育とともに子どもたちの将来にとって大変重要なことであり、したがって進むべき道を間違えることはできません。そこで何点か伺います。</p> <p>①平成23年度に基本計画を作成することなのですが、現在の3カ所体制から2カ所体制にし、2カ所とも公設民営化することなのですが、吉田・分水給食センターはこれまで公設公営ですので、いつごろをめどに民営化にするのか。</p> <p>②公設民営する場合、旧燕はこれまで民設民営だったが、今後、委託業者選定する時期と、どのような方法で委託業者選定をしていくのか。その委託業者選定範囲は市内、または県内か。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	中 島 清 一	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長のマニフェストについて。 昨年4月、市長は子どもたちが夢と誇りを持てる「日本一輝いているまち・燕市を目指して 燕はひとつ」を合言葉に就任され約1年が経過した。就任後の1年を振り返り、これまでの率直な感想と、市長が掲げられたマニフェスト、重点施策の自己評価について伺いたい。 ①産業の振興についての取り組みは。 ②未来の燕を担う子どもたちの育成については。 ③行財政改革の推進は。 ④医療・福祉の充実は。</p> <p>(2) 2011年度予算における市長の目玉政策は。 市長にとっては就任してから初めての本格的な予算編成となった。厳しい財政状況の中にあって鈴木カラーを出すことができたのか、市長が予算に盛り込んだ目玉政策について伺いたい。</p> <p>2. 福祉問題について</p> <p>(1) 救命救急センターの設置に向けて市長の考えは。 新聞報道によれば2月18日に開催された第9回知事・市町村長・医療関係者等合同会議が併設病院規模をめぐる議論が粉叫したとある。県に一任となったが市長の発言や考えを伺いたい。</p> <p>(2) 粉叫の要因・原因は何か。</p> <p>(3) 設置に向けた今後のスケジュールはどうなるのか。</p> <p>3. 環境問題について</p> <p>(1) 環境にやさしい燕市の構築が求められているが、新年度予算にはどのように反映したのか。</p> <p>(2) ごみの減量化は進んだのか。</p> <p>(3) 生ごみの収集拠点を増やす考えは。生ゴミ堆肥の生産量の推移は、市民の利活用状況は。</p> <p>4 教育問題について</p> <p>(1) 保育園の統廃合について。 都会では申し込んでも保育園に入れない待機児問題が深刻です。一方本市においては少子化に伴い入園児が減少している保育園もある。統廃合についての認識と対応、対策は。</p> <p>(2) 2008年9月に「教育立市」を宣言したが今後の具現化に向けた考えは。</p> <p>(3) 本市の学校教育の指針となる「学校教育基本計画」について伺う。</p> <p>(4) 小中学校のエアコン設置状況は。 去年は例年になく猛暑となった。教室をはじめ、保健室、コンピュータ室、音楽室など空調設備はどのような状況になっているのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	樋 浦 恵 美	<p>1. 長善館の精神の継承について 偉大な人物を多く輩出し、思いやりと人のために尽くすという教育を根本とした長善館の精神を、子どもたちに対してどのように継承していくのか。</p> <p>2. 障がい者が暮らしやすいまちづくりについて 障がい者が地域生活に移行するためには、日中活動の充実が欠かせません。障がい者が自立していくためには、機能訓練や生活訓練、あるいは就労支援、就労継続支援の充実が求められています。燕市として、障がい者のための福祉サービスの充実は、どのように取り組まれていくのか。</p> <p>3. 高齢者を支え合うケア体制の充実について 高齢者単身（夫婦）世帯が増えている中、見守り活動など地域で日常的に支え合う体制づくりが大事だと思いますが、燕市としての考えを伺いたい。</p> <p>4. 公共施設の跡地の利活用について 吉田庁舎、吉田旭保育園、旧燕工業高校等の跡地は、市民のニーズに沿った有効活用が必要だと思いますが、燕市としての考えを伺いたい。</p>
4	本 多 了 一	<p>1. 市長の政治姿勢について (1) TPP（環太平洋連携協定）に反対の声は全国津々浦々大きく広がっている。市長はそれに対してどう思っているか。 (2) 越後中央農協燕支店の玄関にはTPP交渉絶対反対の垂れ幕が下がっている。この農協の運動と意思を無視できるか、それとも農協を支援する立場に立ってTPP反対の姿勢を打ち出すことができるかどうか伺いたい。</p> <p>2. 住宅リフォーム制度について (1) 22年、23年度事業としてスタートしたこの制度は好評だ。その利用状況の実態と経済効果はどれくらいか。 (2) 市の施策として後年度への定着をはかることについてどうか。</p> <p>3. 介護保険料の減免について (1) 燕市で普通徴収者は何人いて、その中で滞納者はどれくらいか。条例に基づいて減免をした例はあるか。滞納者への指導をどのようにやっているか。 (2) 条例中、その他市長が特別の事情があると認める場合の条件はどのようなものか。</p> <p>4. 教育費の父母負担の軽減について (1) 公立、私立幼稚園の保育料を補助する制度はあるか。 (2) 新年度の就学援助の受付期日と、その制度の趣旨の徹底をどうはかるか。 (3) 燕市の支給項目は例年ほとんど変わっていない平成22年度から、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が加えられると聞くが燕市ではどうか。 (4) メガネの購入費等は検討したのかしなかったのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
5	埜 豊	<p>1. 財政問題について</p> <p>(1) 土地、建物以外の燕市保有財産の把握状況について 財産目録の作成と実態調査について 保管状況と今後の処分と管理について</p> <p>(2) 統廃合による残された施設の有効利用について</p> <p>2. 高齢者介護と施設の問題について</p> <p>(1) 10年20年先の高齢者介護と負担について</p> <p>(2) 施設の維持と人材確保について</p> <p>(3) 24年度以降の介護保険料と自己負担について</p> <p>3. 空き家対策について</p> <p>(1) 固定資産税納入通知を利用した空き家対策と流入人口の増加策について</p> <p>(2) 安全対策と保安対策を推進するための空き家対策について</p>
6	齋藤 信行	<p>1. スクラップ・アンド・ビルドについて</p> <p>今回は、市長の尊敬する坂本龍馬が、1863年（文久3年）に姉乙女に出した手紙の中で「日本を今一度せんたくいたし申し候」と書いているが、その時代においては、「悪事を働く役人たちと戦ってまとめて成敗し、日本を新しく生まれ変わらせますと祈願しました。」といった内容になると言われていますが、それは当時の時代背景であり、私は現代に置き換えれば、せんたくの部分を選択、洗濯の二つの意味になるのではないかと思います。そこで私は今一度、市長に燕を強いリーダーシップでせんたくしていただきたいと思い、スクラップ・アンド・ビルドについて市長の今後どういう方向に持って行きたいのか質問をしたいと思います。</p> <p>(1) 市長は、平成22年6月11日第2回燕市議会定例会の所信表明の中で、ムダを排除した効果的な行政運営を図ることはもちろん、職員数の一層の適正化や合併後いまだ手付かずの各種公共施設の統廃合、民営化も今後は避けては通れないものと認識しております。とあるが、市長就任後約11ヶ月になるがどのように認識したかお伺いしたいと思います。</p> <p>(2) 地方債と市有財産については、平成22年9月30日現在、借入金が565億8,111万円、市有財産が43億4,310万円（基金）、有形固定資産が約1,258億円、売却可能な土地については平成22年3月31日現在39件65,958㎡で、回収可能価格として6億4,828万6,000円となっています。そこで私は市長に今後売却可能な土地に関して売却出来ないのであれば、貸すという方法もあるのではないかと思います。そこで今後新庁舎が完成しても売れないのであれば吉田庁舎などは民間に貸すなどしてもよいのではないかと思います。例えば幼老複合施設など、医者なども含めた中で民間にセールスをしてよいのではないかと、貸すと言っても無償とか話によってはいろんなやり方があるのではないかとお伺いしたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	齋藤 信行	<p>(3) 市長の思う行財政改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業のスクラップ・アンド・ビルド ・公共施設の適正配置計画、民営化推進の幼稚園、保育園、学校給食センターなど今後の方向についてお伺いしたい。 <p>2. トップダウンとボトムアップについて</p> <p>(1) 平成23年1月22日の市政報告の中で、市長は（5月から現在まで38回実施）昼食の懇談会を職員と行ったと言っているが、その中で意思疎通はできたのか。または意識改革とあるが市長の考えをお伺いしたい。</p> <p>(2) 人材交流について、これからは専門職よりもスペシャリストを育てることにより、政策立案能力が向上するのではないか。そういった中での市長のリーダーシップ、トップダウン、ボトムアップについての考えをお伺いしたい。</p> <p>3. 産業の振興について</p> <p>(1) 産業の振興としては、昨年6月の定例会の中で坂本龍馬のように燕のトップセールスとしていろんな所へ行ってくださいと申したと思います。そこで今までのセールスの中で中国などはどうなのか、市政報告の中での</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国総領事館との交流 ・中国市場開拓調査（上海、成都での物産展） ・ヤクルトスワローズへの売り込み <p>今後の町田市への交流などについてと、両国、町田の物産店についてお伺いしたい。</p> <p>(2) 現在、道の駅は国上一つであるが、吉田、燕には考えられないか（燕の物産販売などは）。平成22年6月定例会の所信表明の中で、「国上山や大河津分水などの自然や史跡、おいらん道中などのイベント、産業史料館をPRし誘客を図るとともに燕の特色を生かした産業観光、体験型の振興に取り組みます」とあるが、市長の考えをお伺いしたい。（市長就任後約11カ月今後の予算事業でどういう対応をしているのか）</p> <p>4. 燕はひとつプロジェクトについて</p> <p>市長はキャッチフレーズとして燕はひとつと言っているが、広い意味での燕としての一体感が市民として温度差がかなりあると思います。今回、市政報告の中でプロジェクトとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燕はひとつイベント認定制度 ・夏まつり新作づくり①よさこい②こども太鼓③踊り など ・つばめっこカルタ ・笑顔をわすれないで の普及 <p>とありますが、今後いつごろ計画を実行するのか。また、燕はひとつに対しての考えをお伺いしたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	齋藤紀美江	<p>1. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長は市政報告会という名目の政治資金パーティーを開かれたと聞いている。無投票で終わった市長選挙時も政治資金パーティーを計画され、そのときには途中で申し出者には払い戻しをされたようだが、政治資金パーティーに対する認識はどうか。</p> <p>(2) 燕市の過去の選挙は多額の資金が使われ醜聞もあったが、旧燕市の最後の市長はクリーンな選挙に取り組み実践されてこられた。市議会議員の選挙もその影響を受け、資金のない私なども立候補できるようになった。選挙に対する考え方はどうか。</p> <p>(3) 今年度、市民とのふれあいトークを実施され大勢の市民の意見を直接聞かれ、また、ご自身の考えも率直に話され非常に良い取り組みだったと思うが、これからも継続をされるのか。</p> <p>2. 燕市まちづくり条例制定への取り組みについて</p> <p>(1) まちづくり条例の素案が発表され、今後策定に取り組みれていくが、職員の意識改革が必要に思うが研修などの取り組みはどうか。</p> <p>(2) また、市民の意識も同時に高めなければならない。新たな公共の担い手ということがよく言われるが、市民の意識醸成にはそれなりの環境整備が必要に思うがどうか。条例案にも活動拠点の整備についての項目もある。どう考えているのか。市民活動センターなどの整備の考えはあるのか。</p> <p>3. 農業サポーター制度について</p> <p>(1) 新潟市では農業を基本にしたまちづくりに取り組み、市民を飢えさせないために自給率を上げると農業政策に力を入れている。日本では人口が減っているが、世界では人口が増加し続けている。コーヒーの例を見てもわかるように、いつ食料が入ってこなくなるかわからない。近い将来に食糧危機が起きるとの予測もある。農業は人間が生きていくための大事な産業に思うがどうか。</p> <p>(2) 民間では個々の農業者が消費者との交流を図って農業の理解を進めるための取り組みをしてきている。援農村などが有名だが、農作業の手伝いをしてもらった人に農産物を提供するという仕組みの農業ボランティアにもなるという取り組み。新潟市は19年度から取り組みを始められている。燕市も農業者の高齢化が進んでいる。この取り組みも考えてみてはどうか。</p> <p>4. ゼロ・ウェイスト運動について</p> <p>(1) ごみの問題は自治体の頭の痛い問題だと思う。焼却炉の補修の莫大な費用、埋立地の残余年数問題などもある。便利な生活になれて使い捨ての容器の大量生産・大量消費・大量廃棄など国挙げての政策課題や市民の意識醸成が重要なことと思うがどうか。そのような中でゼロ・ウェイスト運動に取り組む自治体が増えている。取り組みの考えは。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	大 原 伊 一	<p>1. 23年度予算と行財政改革について</p> <p>(1) 税収の落ち込みで自主財源と依存財源が逆転し、非常に厳しさを感じる予算となった。このままでは、今後の財政運営が厳しさを増すと思うが、市長の現状認識と今後の対応について。</p> <p>①行財政改革が待ったなしの状況とを感じるが、市長の認識と今後の方針について。</p> <p>②在宅介護手当の見直しを検討され、1年間の周知期間で市民から理解を得られているが、得られなかった場合の対応策は検討されているのか。</p> <p>③在宅介護手当の見直しのセットとして子どもの医療費補助を小学校卒業まで、子宮頸がんワクチン補助・不妊治療費補助など23年度から前倒し実施を計上しているが、団塊の世代が退職時期を迎え、ますます高齢者福祉予算が増えることが予想され、税収の回復の見通しが立たない中、継続していけるのか不安である。今後の福祉予算が財政に与える見通しをお聞かせ願いたい。</p> <p>④税収の落ち込みをこれ以上にならないために、産業の活性化・誘致対策、ならびに若者（労働人口の受け入れ定住化）対策の必要性を感じるが、どのように考えているのか。</p> <p>2. 農業政策について</p> <p>(1) 昨年の農産物は、猛暑の影響で品質低下を招き農家にとっては、大きなダメージを与えたが今年への対策について。</p> <p>①稲作・畑作・果樹の指導体制について。 昨年の猛暑による農作物の品質低下の要因分析と反省点を踏まえて今年への栽培管理対策を農家に指導するのか。</p> <p>(2) 地元農産物の消費拡大に対する今年度の取り組みについて。</p> <p>①従来の農家に対する補助金だけでは地元農産物の消費拡大につながらないが、消費者に対する対策を考えているのか。</p> <p>②リフォーム助成で5000万円計上しているが、米消費拡大のために白米からパンの焼けるホームベーカリーに助成することはいかがか。</p>
9	小 林 由 明	<p>1. 市街地の整備について</p> <p>(1) 燕市総合計画には「魅力ある商店街の環境整備」とあるが、総合計画を策定した平成20年度から現在に至るまで、どういった事業をどのように行っているか伺いたい。</p> <p>(2) 魅力ある商店街となったか。</p> <p>(3) 今後の取り組みについて具体的に伺いたい。</p> <p>(4) マンションなどの集合住宅、軽費老人ホームやケアハウスなどの建設を、商店街周辺に誘致することは考えられないか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
9	小林 由 明	<p>2. 産業振興「食」の分野について</p> <p>(1) 燕市は洋食器のまちといわれて久しいが、農業や畜産業なども県内では盛んに行われている地域であり、燕市は包括的食のまちであるという見方もできる。そういった面からも、まちを盛り上げていただきたいがいかがか。</p> <p>(2) 燕のまちおこしとして、また燕はひとつプロジェクトの一環として、燕市産の食材と燕市産の食器厨房用品等を使用し、飲食店や食材、食器等製造販売業者などを巻き込んだ、食に関する大々的なイベントを開催していただきたいがいかがか。</p> <p>(3) 市内飲食店や家庭などで、市内で製造販売された食材、食器、厨房用品等の使用を促進するために、そういった食材が毎日購入できる販売所の設置や、市内製品購入の助成など考えられないか。</p> <p>3. 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 市長に寄せる市民の期待は大きいものの、市長の考えや取り組んでいることが市民に伝わっていない感がある。市長と市民が同じ目標を掲げ、その実現に向け力を合わせることができるよう、市長とのふれあいトークなどの活動をできるだけ小さい規模でできるだけ多く行っていただき、市民との連帯感を醸成して欲しいがいかがか。</p> <p>(2) 民間で行っているように、行政でも各部署の壁などに各部署の目標を掲げてみてはどうか。</p> <p>(3) 今回の予算編成で、若い世代やまちを盛り上げようと元気に活動している方への支援が充実したのかなと喜んでおります。社会を支える現役世代のキャリアアップを図るため、また、この厳しい社会情勢の中、元気を失い、明日を見失ってしまった現役世代が、輝く明日への一步を踏み出すための支援として、国家資格等取得の支援なども行ってはいただけないか。</p> <p>4. 中学校の部活動と授業について</p> <p>(1) 市内中学校で部活動による疲労から、一部生徒の授業中の居眠りが発生しており、教師もそれを黙認している状況があると伺ったが、市としてそういった状況は把握されているか。</p> <p>(2) 部活動が盛んになり、机に向かうこと以外にも熱中できるものを発見でき、自己を忘れるほど取り組めることは大変素晴らしいことと思うが、部活動を頑張りすぎて心身の故障を生じないように、また、授業に支障が出ないように配慮はどのようになされているか。</p> <p>(3) 近年部活動で素晴らしい成績を上げている学校があるが、学力の向上についてはいかがか。</p> <p>(4) 校内の風紀について何か変化はないか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	山 崎 雅 男	<p>1. 新年度予算編成について</p> <p>(1) 今後の経済情勢をどのように見越し「日本一輝いているまち・燕市」を目指しての予算編成なのか具体的見解を伺う。</p> <p>(2) 新年度予算の特徴と意を用いた点、重点事業は何か。新年度予算における財政健全化に向けて、特に留意している事項について伺う。</p> <p>(3) 予算の考え方について、地域活性化に役立つ地域住民に理解される予算であるのかどうか。</p> <p>(4) 近年、市民税や国保税をはじめ、各種未納金の収納率の実態はどうか。延滞金の仕組み、利率はどのくらいで、使われ方はどうか。</p> <p>(5) 今後の経済状況や扶助費、まちづくり等の事業規模の伸びを見据え、市長の掲げる重点施策の実現に向けて、市財政状況や財政見通し事業計画等を示した財政計画を策定すべきかと思うが見解を伺う。</p> <p>2. 一般国道 116 号線（仮称）吉田バイパス整備について</p> <p>(1) 広域的な対応を必要とする幹線道路については、近隣の自治体との調整は欠かせない。手詰まり感はあるが、取り残されている工事区間を抱える燕市としても積極的な対応すべきと思うが、関係自治体とどのように協調して推し進めていく考えなのか伺う。</p> <p>(2) 過日、一般国道 116 号線（仮称）吉田バイパス沿線地区の自治会長等に事業に係る説明会が行われたが、説明内容とどのような質疑があり、今後市としての方向性が示されたか。</p> <p>3. 旧燕工業高校跡地利活用について</p> <p>(1) 職員で構成されている庁内検討委員会での活用計画。3年有余経過しているが、今まで利活用に向けてどのような検討内容なのか。今現在、方向性を示すことができない多くの課題を解消するにあたり、どのようなことが考えられるか。</p> <p>(2) 燕地区給食センター建設が予定されているが、交通アクセスが決して良いとは言いが、利活用に対して行き詰まりであれば燕地区給食センター用地として前向きに考え取り組むべきでないか。</p> <p>4. 情報公開の徹底と市民参加について</p> <p>(1) 公平・公正、そして透明性の確保は、市民との協働にとって欠かせない原則で政策形成過程の情報公開も含め、今後どのように情報公開と説明責任の推進に取り組まれるのか。</p> <p>(2) 吉田南小学校跡地利活用等含め、市長の理想とする住民説明や情報公開の考え方を示していただきたい。</p> <p>(3) 吉田南小学校跡地利活用に吉田南保育園・八千代保育園・旭保育園の3園を統合して保育園、または子ども園へ移行、建設予定だが、現吉田南保育園の利活用に対してどのような考えなのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	山 崎 雅 男	<p>5. 地場産業振興について</p> <p>(1) ものづくり、産業のまち燕市の地域性をもとに問題意識や推進体制を築き進めていくことはもとより、さらに旧来のシステムに捉われることなく新時代にあった創造的な展開を行っていく中小企業や地域産業を振興していくなど、一体的な地域産業政策を考えるべきかと思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 今年、金属洋食器製造 100 周年を迎え 1 月の 100 周年記念式典をはじめ、1 年間に渡り各種イベント等が予定されているが、地域産業をどのような展望で、そして、地域産業振興と地域活性化のためどのように具体的に支援をしていくのか。100 周年を契機に新たなスタートとして、地場製品の拡大や普及に向けて県も巻き込みPR、情報発信することができないか所見を伺う。</p>
11	土 田 昇	<p>1. 吉田小学校改築事業について</p> <p>(1) 事業費 7 億円余で旧校舎を解体して校舎改築「1 期」工事を行いますとしているが、財源内訳について ①国、県支出金 ②一般財源 ③地方債 ④ガス譲渡清算金 ⑤その他の財源内訳 について伺う。</p> <p>(2) 改築のスケジュール計画は仮設校舎、校舎改築、体育館改築、仮設駐車場の契約とその面積、借地の金額も含めて伺う。</p> <p>(3) 吉田小学校の敷地内に給食センターがあり、その対応について 12 月議会で都市計画法があり現在地での建設が困難であると答弁しているが、この間の経過と今後の対応について伺う。</p> <p>(4) 吉田中央保育園の関係も、吉田小学校の改築に合わせて、学校の前の用地を求めて保育園の移転改築をしたいと考えていると答弁されているが、この間の経過と今後の対応について伺う。</p> <p>(5) 児童クラブの施設、整備、さらに学校田の問題も含めて、今後、用地の取得も検討すべきと考えるがその対応について伺う。</p> <p>2. 借地料の問題について</p> <p>(1) 旧市、町単位の借地の件数、地権者数、年間の支払金額、契約年数等々について詳細に伺う。</p> <p>(2) 旧新潟地方法務局（現在の教育センター）の施設について、平成 18 年度決算で 21 万円で建物購入しているが、それ以前については法務局より毎月土地賃貸借料として月額 40,000 円×12 カ月＝480,000 円の振り込みがあり、その金額に市が増額して合計 2,461,731 円支払った理由、それ以後 18 年度分として 1,048,413 円に減額した理由、そして現在、教育センター費として支払っている借地料 132 万円の根拠について詳細に伺う。（地権者とどのような契約がなされたのか。）</p> <p>(3) この問題について市長の認識と今後の対応について伺う。</p> <p style="text-align: right;">（次ページへ続く）</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	土 田 昇	<p>3. 八王寺佐渡線道路改良事業について</p> <p>(1) 事業費 8 億 9,900 万円で 23 年度中の事業の完了を目指しますとしているが、着手した年数は。総額の金額についてはどのような金額か伺う。</p> <p>(2) 一方通行の問題について、今後どのように対応するのか伺う。</p> <p>(3) 今後、排水問題についてどのように対応するのか伺う。</p> <p>4. 特養ホームの整備について</p> <p>(1) 待機者の解消に向けて特養ホームの増設についてどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 収入や資産のある方々は入所金 300 万円の有料施設サービスを利用できるが、収入の少ない方々は、何年も待機させられている実態に多くの方々が不安を抱いている。その対策として年金で入れる特養ホームの増設の実現に向けてどのように考えているか質問いたします。</p>
1 2	タナカ・キン	<p>1. 市営駐車場の料金について</p> <p>(1) 現在、燕地区の仲町駐車場は、定期利用で屋根有り 1 カ月 8,000 円。吉田地区の吉田駅前駐車場は屋根有り 1 カ月 8,000 円で屋根無しは 5,500 円である。駅裏の駐車場は屋根無し 5,500 円で、ビジョンよしだ前駐車場は屋根無し 1 カ月 3,000 円である。分水地区はすべて屋根無しで、分水学校町駐車場は 1 カ月 3,000 円であるが、他の 4 カ所は、すべて 1 カ月 2,500 円となっている。いくら駅周辺でも 1 カ月 5,500 円と分水地区の 2,500 円とでは差額が大きいように思われる。見直す必要があるのではないか。</p> <p>2. さくら公園について</p> <p>(1) この 3 月定例会議案で、さくら公園が 4 月 1 日より正式名称を大河津分水さくら公園としてオープンする。先の 12 月定例会でもさくら公園のトイレの設置について質問をしている。トイレも無いままオープンの予定であるが、約 15,000 坪という広さでトイレが無い公園なんて考えられないが、他にこんな例があるのか。</p> <p>(2) これが公民館や体育館といった施設ならトイレが無いままオープンするわけがない。市長は今後、観光に力を入れていくと言うが、大河津分水周辺は燕市においてはまさに一大観光スポットであろう。トイレが無いただの広場を公園と言ってスタートしたら、利用者の批判を浴びるのは目に見えている。トイレを設置できないうちは大河津さくら公園をオープンすべきではないと思うが。</p> <p>3. 国土調査について</p> <p>(1) 国土調査の結果、作成される地図に間違いは絶対ないと言えるのか。</p> <p>(2) 当時の更正図と国土調査の結果、作成され法務局に登録された地籍図は明らかに違っている。しかし、筆界特定で示された地図と、当時の更正図はほぼ同じである。現在、筆界特定での調査が一番精度が高いと思われるが、筆界特定はどれくらい正確なものなのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 2	タナカ・キン	<p>4. 特別職報酬等審議会について</p> <p>(1) 結果は、議員は据え置きで、市長ら三役は3%の引き上げということである。三役の引き上げに対しては何ら反対するものではない。合併でエリアが拡大し、また、地域主権型社会への移行とともに議員の仕事量や責任は大きくなっている。その中で議員はもう片手間のできる仕事ではない。議員の意識改革や議会改革のためにも適正な報酬が必要と思うが。</p> <p>(2) 審議委員に外部の識者を入れなかったのはなぜか。</p> <p>(3) 委員の中には市長の後援会の幹部の名前も見られるが、不自然ではないか。どういう考えで人選をしているのか。</p> <p>5. 在宅介護手当の見直しについて</p> <p>(1) 現在のサービスは県内の市町村に比べ、それこそ輝くものであり、市長の「日本一輝くまち」の目玉の一つであろう。介護する人される人、どちらも現在困っている人たちである。また、介護の問題はすべての市民がいずれ直面する問題である。2月21日の全員協議会で市長は、この提案は反対されると思っていても答弁している。自らがそう思っている案を市民の声も聞かずに提案するというやり方は乱暴と思わなかったのか。</p> <p>(2) 市民に説明していく中でアンケートの実施、また、反対の声が大きくなった時は廃案にするつもりはあるのか。</p>
1 3	中 條 征 男	<p>1. 地上デジタル放送完全移行について</p> <p>(1) 7月より地上デジタル放送に完全移行するが、市のすべての施設では対応は完了しているのか。また、完了していないなら、いつころまでに行う予定か。</p> <p>①器具、製品等の費用額はどれくらいの見積り予定をしているのか伺う。</p> <p>②エコポイントでの対応はどのような考えであったか。</p> <p>2. 電話の市外局番について</p> <p>(1) 合併後5年目となり、合併効果を生かしたまちづくりを目指していくためには、電話の市外局番の見直しが必要と思うが、どのように進めていくのか。</p> <p>①NTTに実情を伝え、また、陳情等は行ったのか。</p> <p>3. 巡回バス運行について</p> <p>(1) 現在の巡回バス運行については見直す計画はあるのか伺う。</p> <p>①土日、祝日は運休であるが、土日、祝日の運行を望んでいる利用者が多いが、見直して運行する計画があるのか。</p> <p>②現在の運行回数や経路をどのようにとらえているのか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	長井由喜雄	<p>1. 児童館・児童クラブ・なかまの会の施設及び運営について</p> <p>(1) 子育て支援課の中に3施設担当の正規専門職員の配置を 3施設を管理しているのは子育て支援課だが、担当者は事務職員があたっている。しかし、児童クラブが11施設で22年度の登録児童数490人、なかまの会では6施設の一日平均の利用児童数が150人、計740人もの学童が毎日これらの施設を利用しているにもかかわらず、現場に一部保育士などの有資格者が要るものの、全員が非正規職員であり、これを統括する子育て支援課の担当職員までもが専門的知識を持つ職員が配置されないのはいかがなものか。 まずは、子育て支援課内に専門職である正規職員を新年度から担当者として配置するべきであると考えがいかがか。</p> <p>(2) 利用者が納得できる施設建設・配置を 「燕市次世代育成支援行動計画」では、児童館が未設置の学区については「なかまの会の設置を検討」し、児童クラブが未設置の学区は「児童クラブの設置を目指す」としている。この行動計画は平成26年度までの後期計画として示されているが、あと4年しかない中でこの計画については具体性があるのか。 市民からはいまだに月額8000円の費用負担がある児童クラブと、年間保険料だけですむなかまの会についての不公平感が訴えられている。行動計画では児童館と児童クラブがある学区については「なかまの会」は設置しないということなのか。市民からは児童クラブもなかまの会も「同様施設」と見られている。利用者である市民が納得できる施設整備について再考していかなければならないのではないか。</p> <p>(3) 指導員の資質向上の手立てについて 指導員の資質の向上という問題・課題についてはこれまでも出されてきた。私は、各施設に専門職の正規職員を最低1名は配置するべきであると考えているが、正規職員配置と資質向上の手立てについての具体策についてはいかがか。</p> <p>2. 燕市の入り口にある顔としての「産業史料館」について</p> <p>(1) 産業史料館の屋外に洋食器製造機械の展示を 市は、産業史料館について、合併後の燕市への入り口となる重要な施設として位置づける中で新館建設を行った。「企画展」など、職員の努力により入館者は増えているが、私は道路から見た時の殺風景さを感じてきた。 旧燕市は洋食器産業のまちであり、スプーンをはじめ洋食器については新館で歴史を見ることができるとは製造機械は目にすることができない。 新館側の屋外に、フレクションやパワープレス、ロールなどの大型機械を置き、洋食器製造のまち燕の象徴としてはいかがか提案したい。</p> <p>(2) 記念物品の販売と、有料入館者チケットを金属スプーンに 現在、産業史料館を訪れ、記念として持ち帰ってもらえる品物は、最近代理販売を始めたマグカップやアクセサリ類に限られている。私は燕市への来訪者にお金を使ってもらうためにも、史料館においてふさわしい物品の販売を検討すべきと思うがいかがか。 また、有料入館者チケットを金属スプーンとするなど、燕市を積極的にアピールする工夫をしてはいかがか。</p> <p>(3) 新館や屋外の活用を 新館奥のスペースや屋外を利用した企画をしてはいかがか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	長井由喜雄	<p>3. 燕市の将来的児童年令の増についての取り組みについて</p> <p>(1) 燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画について 現行制度と比較しての幼児教育・幼児保育の考えについてどのような変更があるのか。政府が制度改革しようとする「こども園」についてどう考えるか。現行制度からの後退はないのか。また同計画の中で「民営化」について大きく触れている。私は公立園を民営化するべきではないと考えるが、最終的に民営化をどこまで進めようと考えているのか。</p> <p>(2) 市長が考える燕市において児童年令増の対策について このままでは自然減となると予測される子ども数を増やしたいとお考えか。その際重要となる子育て支援策をはじめ、どのような手立をもって対策を考えているかお聞きしたい。</p>
15	渡邊広宣	<p>1. 行政サービスにおいて所得制限の導入について 少子高齢、人口減、GDPが伸び悩み停滞している昨今、政治の原点の1つでもある「富の再分配」の考え方から行政サービスに所得制限導入について伺う。</p> <p>2. 産業の振興策について 既存産業、新規分野産業に中長期的予算規模とそれに伴う生産高（生産額）と雇用の増加数を具体的数値化を示すべきでは。また、あらためて企業誘致についての基本的考え方を伺う。（市内の失業者（率）、フリーターなどの実数（態）は把握されているか）</p> <p>3. 建造物の今後の補修、修繕、改新についての中長期計画を策定すべきでは 老朽化または耐震化すべき建物、橋、水道管など、すべてを部、局、課を横断的に取りまとめ、教育施設の統廃合計画と合せて計画化すべきと思うが市長の考えを伺う。</p> <p>4. 職員の研修、スキルアップと職員の資質について 職員には高度で専門的な知識と技術力が今まで以上に求められている。そのため研修、スキルアップは必要だが、一方で市職員は公僕的考え方から市民との対話力、対応力も求められる。職員のそれに対する能力向上に向けた対応はとられているか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
16	中山 真 二	<p>1. 遊休不動産について</p> <p>(1) 現在市の所有する遊休不動産の件数と面積、またその土地建物の利活用の予定は。</p> <p>(2) 今後新庁舎の完成や学校の移転改築、保育園等の統廃合によって生まれる遊休不動産の見込みの件数や面積はどのくらいか、またその利活用の予定は。</p> <p>(3) 現在民間において、空き家が増えているように感じるが、市として空き家状況を把握しているのか、その件数はどれくらいか。</p> <p>(4) 遊休不動産を処分するにあたり基本的な考え方はどうなっているのか聞きたい。</p> <p>2. 退職金について</p> <p>(1) 今年度を含め今後5年間の予想退職者数と退職金の総額はどれくらいか。また一人当たりの平均は。</p> <p>(2) 合併前の旧燕市と吉田町、分水町の退職金制度が異なっており、合併後統一されたがそれによって燕市の負担はどのように変わったのか。また、将来に向けて負担はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 政権の目指す公務員制度改革では、人件費の2割削減をうたっているが、燕市では、合併後10年を目途におおむね2割の人員削減を目指し、現在も毎年約15人の削減をしている。給与や退職金の金額について市長はどのように考えているか聞きたい。</p> <p>3. (仮称) 朝日大橋について</p> <p>(1) 現在計画中の南7丁目と朝日町を結ぶ(仮称)朝日大橋の進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) (仮称)朝日大橋は、高速道路インターと直結し、三条方面からのアクセスも良く、八王寺佐渡線とつながり労災病院に続く重要道路である。早急に完成させ、労災病院の救命救急病院への転向へつなげるべきものと期待しているが市長の考え方はどうか聞きたい。</p> <p>4. ふるさと応援について</p> <p>(1) 燕市にゆかりのある人で、市内外に多くの優秀な方がおられると思う。とりわけ市外県外に出て、エキスパートとして活躍され現在退職されている優秀な方もたくさんおられると思う。そんな方々の人材を登録させていただき、アドバイザーとして人的な面で応燕(援)組織を作って、今後の燕市の発展に寄与してもらってはどうかと思うがどうでしょうか。</p> <p>(2) まちづくり基本条例の制定に伴い、今後ボランティア活動の組織づくりや報奨制度が必要と思うが、どのような考えをお持ちか聞きたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
17	杉 木 義 男	<p>1. 23年度予算について</p> <p>(1) アメリカのリーマン・ショック以来、世界経済は低迷し、日本経済の影響も大きく、中小企業へ打撃を与え、所得の格差や企業による社員の解雇が進む中で、福祉や子ども手当、高齢化、医療政策で消費経済が進み歯止めのきかないデフレスパイラルに陥っている。国債 997 兆円、国民 1 人当たり 700 万円といった借金を抱えたのが現状であります。</p> <p>福祉政策の中で、小規模特別養護老人ホーム建設により高齢待機者が解消し、地域経済の活性化や雇用、所得も生まれると思いますが、考え方について伺います。</p> <p>(2) 市長初めての一般会計予算 355 億 9100 万円で、昨年比 2.8%増で、財政の厳しい中で全市民に少しでも格差のない支援を行い、光を与えたい気持ちは良くわかります。地域活性化や経済効果、雇用が生まれる産業分野、成長分野、農産物、観光について詳細な考えと予算についても伺います。</p> <p>2. 救命救急センターについて</p> <p>(1) 超高齢化社会が進む中で、市民の安全と安心を守るためにも医療体制の充実が望まれております。県央地域における救命救急センター併設病院で、ベッド 500 床、医師 80 人といった案の中で、足並みが揃わないと聞いておりますが、県知事と 5 市町村のトップで構成され進められていますが、現在の状況と今後の方向性について伺います。</p> <p>3. 観光振興について</p> <p>(1) 観光資源による経済の波及効果は大きく、全国で注目され力を入れております。道の駅「国上」周辺の集客の実態について。</p> <p>(2) 産業観光に取り組んでいるが、その効果について。</p> <p>(3) 観光情報の発信の取り組みについて。</p> <p>(4) 産業観光と道の駅「国上」周辺の観光資源をどう活かして観光の振興に取り組むのか伺います。</p> <p>4. 教育振興対策について</p> <p>(1) 昨今のいじめ問題の深刻化の状況を受けて、文科省では子どもを守り育てる体制づくりのため有識会議を立ち上げ、2011 年 1 月のアンケート調査では小学校の 9 割、中学校でも 7 割、取り組みを点検しております。市ではいじめ問題の解決策が取られているのか。また、いじめの実態について。</p> <p>(2) モンスターペアレントについては、いじめ問題の解決が遅れると保護者がエスカレートして教師に責任を多数で求めるために、先生の状態が悪化して休職や退職に追い込まれ、裁判まで行くケースがあります。こうした中、市では心のケアや対応が取られているのか。</p> <p>(3) 23 年度から全国小学校 5 年生～6 年生に、英語教育が年間 35 時間、週 1 回実施されている中で、小学校新指導要綱で十分な対応がなされるのか。英語指導員の ALT、JET のプログラムシステムの指導内容と予算について。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
17	杉木義男	<p>5. TPPについて TPPに参加した場合、農家は大打撃を受けるが、将来若者が安心して農業に従事し、農業に誇りを持つための方策は何が考えられるか。</p> <p>6. 福祉について 特別養護老人ホームの待機者 662 人と年々増え、家族負担は大きく、精神的苦痛は限界まで達している。今後 5 期計画でどのような対応がなされるのか伺います。</p> <p>7. 村づくり交付金について 村づくり交付金事業は 22 年度廃止となっていますが、23 年度はどのように対応されるのか。</p> <p>8. 遊歩道整備について てまりの湯と集落を結ぶ遊歩道の整備はいつごろ行なわれるのか伺います。</p>
18	阿部健二	<p>1. 新潟県の人口が 237 万 5 千人に減り、県は国を挙げての産業対策を求めているが、燕市の人口減少対策（少子化対策）も国・県の施策待ちか。 これまで何回か「一つの産業が一つのまちを作り、一つの産業の衰退で一つのまちが消える」例として夕張市を取りあげ、前回は、今の国の雇用調整金が打ち切られた途端、燕市の地場産業では仕事にアブレた市民があふれ、仕事を求める人たちの市外流出による燕市の人口激減が、眼前に迫っていることを警告した。 また、人口の自然減（社会減）については、子育て世代が高収入を得られる職種を燕市に誘導すること、育児休業に積極的な企業への奨励金制度の創設、子育て世代への市税減税などの提案もしてきた。が、市の腰は重いようである。 中学校 3 年生までの医療費を無料にし、格安の公営住宅をしつらえて若者の定住を増やし、出生率を 2.04 まで伸ばした自治体があること、また、市営住宅を入居者のお好みで作成し、将来的には、その市営住宅を入居者に払い下げるといった奇抜な施策で、若者人口を増やしている自治体があることは、ご存知であろうか。 そして、燕市でも、そんな、思い切った若者定住政策を打ち出してはいかかがか。 (昨今の人口減少問題は、そこまでの手だてが求められているのでは…)</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
18	阿 部 健 二	<p><u>2. 少子高齢化が進んで社会保障費の担い手が必要な中、市の職員 646 人のための新庁舎は作るが、今や 700 人にもなる特養待ちの市民の求める介護施設を建設しないで、社会保障費の担い手の一員でもある女性の働く機会を奪い在宅介護に拘束する。あげくに介護手当の減額か。</u></p> <p>おととしの春の 600 人が、去年の春には 664 人に増え、今年の春には 735 人後にまでふくらむであろうことが心配されたのが、燕市の特養待ちの人たちの数で、案の定、去年の暮れには 700 人台に突入したという。</p> <p>なのに、特養のできる気配は一向にない。それどころか、市は介護手当をへつるとおっしゃる。</p> <p>つねづね施設介護より在宅介護を充実したいと、特養建設を求める声を牽制してきた市の、ここでの介護手当の減額は何をかいわんやである。</p> <p>市長の言われる「日本一かがやくマチつばめ」にするための一つと誇るべき燕市の介護手当を、あえて、ほかの地域の水準に引き下げるとする市長の目指す「日本一かがやくマチつばめ」とはいかなるマチなのであろうか。</p> <p>そもそも、福祉を充実するために、ほかめ福祉事業（今の場合、介護手当）をへつるという論理そのものがスジ違いで、福祉を充実したいと言うなら福祉予算総額を増やことがスジでは。</p> <p><u>3. 介護手当の減額は、合併特例債の借金がえしのために市民サービスをつめなければならない必要からが真の理由に思えてならないが。</u></p> <p>例えば「48 億円の庁舎が 16 億円で手に入る」と、安易に 16 億円の借金をすることからしてが問題で、税収の伸びなど見込めない中、今までの市民サービスをつめないで合併特例債の燕市負担分を返済する方法があるのだろうか。</p> <p>さらなる問題は、国が面倒をみてくれるという合併特例債の国の負担分が鳥取県庁が言うように「普通交付税に合併特例債分が、そっくり上乗せされず、実際には合併特例債分が普通交付税から削減され、普通交付税の総額が減額される」であろうことで、もし普通交付税総額が減れば減った分、さらに市民サービスを切りつめて借金を返さなければならなくなるのである。</p> <p>燕市が発行する合併特例債が 242 億円、市の負担分が 35.5%で済むとしても 81 億円、それを 20 年で返すには年間 4 億円からのカネが必要になるのである。</p> <p>今までの市民サービスをつめなくても年間 4 億円からの借金を返す方法が、一つだけあるが、さて、それは何か。</p> <p>それから、交付税措置のある起債に関する鳥取県庁の発信情報は「正しくない」と言えるか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
18	阿 部 健 二	<p>4. <u>すでに合併特例債を使った新庁舎建設用地の取得には市の背任行為としての疑いがぬぐい切れない。そんな土地での新庁舎建設にためらいはないのか。</u></p> <p>先日、反あたり、150万円で田んぼが売買された話をしたら、「それは高い、50～60万円が今の相場だ」と地価に詳しい議員に言われた。それにしても、田んぼが反あたり300万円で売れるかどうかの折に、反あたり1,100万円での高値で買ったことは、まさに「税金をムダに使い市民に財産上の損害を与えた背任行為」としか言いようがない。</p> <p>驚くのは、「ほかの地区との買収交渉」を強くせまった議員までもが、いざの時には賛成したことであり、「法外な価格ではないか」という問いに対し前市長は「用途が田んぼでなく新庁舎用地だから法外な価格とは言えない」と答えたことで、用途が田んぼなら法外な価格と言えるが用途が新庁舎用地だから法外な価格ではないというマカ不思議な論理が展開されたことである。</p> <p>用途が何であれ、買ったのは田んぼそのままの物件で、田んぼを新庁舎建設用地にするために市は、3億円もの造成費をかけて、反あたり1,600万円にも近い土地に仕立てたのである。</p> <p>ハーバード大学のマイケル・サンデル教授の白熱教室をまねて「そこの君、市のやったことは“正義”と思うか“不正義”と思うか」を市民に問いたいのである。</p> <p>もし、新庁舎建設用地の取得が背任行為と判じられた場合、隣接する燕警察署の建設用地を取得した県も背任行為に手を染めたことになるやに思うのだが、県の議会や会計監査では問題にならなかったのでしょうか。（ご存知だったら…）</p> <p>5. <u>首長会議での決定が上意下達された新庁舎の位置が、あたかも合併協議会において選定されたがごとく聞こえた12月議会における市の答弁について。</u></p> <p>「合併協議における建設候補地の選定経緯は、1カ所ありきで進んだものではない。3市町の意向を踏まえての5カ所の変遷を経て」というのが12月議会における市の答弁であるが、この答弁は正しいとは言い難いのである。</p> <p>実際の建設候補地の選定と、その変遷は、3市町の首長の間だけで、と言うよりは2つの町の首長の間でのツナ引きのもとで行われたものであり、それも、今の予定地周辺に限定された選定で、どう考えても「3市町の意向を踏まえての5カ所の変遷を経て」などと胸を張れるものではなかったはずである。</p> <p>正しい答弁が行われなかったことは「燕市議会で不正義が行われた」とさえ言えるのではないか。</p>